

団体名：**まごころの里**

活動名：**農産物の加工直売を通じた高齢者の生きがいきくりと地産地消の推進活動**

代表者 / 末 ^{すえ} 広 ^{ひろ} 花 ^{はな} 子 ^こ

所在地 / 岩国市美和町大字生見 1887-1

活動紹介

活動の目的

中山間地域における農産物の加工直売を通して、高齢者が連帯感を持ち、つねに生きがいを見出しながら生活できるようにすることが大きな目標です。また、地産地消の推進を通し、地域の結びつきが強くなることを期待しています。

これまでの活動の様子（内容）

平均年齢 70 歳の農家の主婦たちが、美和町生見地区にある「いきみ ikiiki センター」に当番制で集まり、惣菜やモチなどの加工直売をしています。また、野菜の直売、軽食店の運営もしています。漬け物は各自の家で、生産加工を行っています。

最初は、小さな朝市でしたが、現在は会員数も増え、約 40 名で協力しあいながら、問題が起これば、会員同士の話し合いにより解決するようにしています。

休みは、盆・正月程度。ほぼ毎日開店し、町内外からの顧客数も安定してきました。単に販売だけでなく、お馴染みさんと料理の仕方を教え合ったりして、ここが交流の場にもなっています。

また、地産地消の振興にも一役買い、食育推進の意味でも、月に 1 回程度ではありますが、学校給食に搬入することで、積極的に活動の場を拡げていくなどステップアップしています。

営利が主たる目的ではなく、各自が野菜の出来具合を競ったり、消費者に少しでも喜ばれるものを作ろうと研究することが、地域の高齢者の生きがいきくり対策につながっています。

活動の展望

高齢者社会といわれる昨今、仲間同士が同じ目的を持ち、集いながら日々暮らせるという事に喜びを感じつつ、地域で消費するものは地域で生産するという意識、反対に、地域で採れたものを地域で使うという意識で、「生産者と消費者が連帯感をもって生活していくことが大切だと思います。それによって、こころもからだも元気で、楽しく生きることができれば、生きがいを持ち続けられます。



「いきみ ikiiki センター」前



農産物・加工品の直売